

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

6月は和風月名で水無月(みなづき)。意味・由来・語源は諸説あるが、水無月の「無(な)」が「の」に当たる連体助詞だという説

で「水の月」だとの解釈だ。下野新聞のコラム雷鳴抄さんが「栃木の地名 先人がのこした危険な地名を探る」と題して講演した栃木県考古学会顧問の嶋静夫さんの自然災害の事前防止での指摘を紹介した。「欠」や「掛」が入った地名は崩壊地を意味するため、要注意。「押切」は川の氾濫で土手や堤防が押し切られる意味。「谷地」「谷津」は豪雨の際一帯が冠水しやすい地だ

にと思った内容だった。6月初旬、特別養護老人ホーム白嶺に長野県シニア大学白馬・小谷地域の修業者など41名で構成された長野県長寿社会開発センター大北支部白馬・小谷ヶ

ダメなときほど言葉を磨こう

ループのボランティア活動に参加する。男性陣は草刈機を使用して施設周辺の草刈作業。女性陣は施設使用の車イス拭き清掃だ。毎年実施しているで手際よい作業が行われる。より多くの作業をこな

したいと小道具持参のメンバーには頭が下がる思いだ。女性会員も増えて作業中の会話も大いに盛り上がり楽しさが伝わってくる。コロナ感染予防のために総会は屋外。既に2回目のワクチン接種を終



2年続きの屋外での総会。違和感もなく新しい会議スタイルが定着する予感だ

えた会員や、2回目の日程が近い者も多く、今後の会の活動内容に期待する声も多い。しかし兵庫県加西市からはファイザー製ワクチンを2回接種した女性2人が感染確認されたとの情報もある。

た人生も少ない、この状況の中での楽しみ方も学ばなければ」との声に思わずうなずいてしまう。コメディアンの本郷一さんは「ダメなときほど言葉を磨こう」と話す。内閣府の国際比較調査で日本は31.3%が「親しい友人がいない」と答えた。と伝えた。孤独な高齢者にならないためにも、ぜひシニア大学で学び、積極的に地域とつながり、生きがいと健康づく仲間づくりに取り組んでほしいと思った1日でもあった。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)